

型 式 : スポーツアビエーション・エアクラフト式アベンジャーR447L型
超軽量動力機(単座)
識別番号 : JR1165(財団法人日本航空協会識別番号)
発生場所 : 茨城県下館市大字女方1024の水田
発生日時 : 平成6年5月21日 09時15分ごろ

1 航空事故調査の経過

1.1 航空事故の概要

JR1165は、平成6年5月21日、レジャー飛行のため、操縦者のみが搭乗し、離陸後エンジン回転数が低下し、09時15分ごろ、水田に不時着、転覆。

搭乗者	操縦者
搭乗者の死傷	軽傷
航空機の損壊	中破、火災発生なし

1.2 航空事故調査の概要

主管調査官が、平成6年5月24日、現場調査を実施した。
原因関係者からの意見聴取を行った。

2 認定した事実

2.1 乗組員に関する情報

操縦者	男性 65歳
財団法人日本航空協会技量認定	No. 8154(平成4年6月25日)
型式の限定	舵面操縦型
総飛行時間	約50時間
同型式機による飛行時間	約2時間

2.2 航空機に関する情報

2.2.1 航空機

型式	スポーツアビエーション・エアクラフト式 アベンジャーR447L型
総飛行時間	約3時間
事故当時の重量	約204kg(仕様書最大重量234.2kg)

2.2.2 エンジン

型式

ロータックス式447型

2.3 機体調査

- (1) 操縦系統 異常は認められなかった。
- (2) 燃料系統 プロペラ手回しの結果、燃料ポンプのベントホールより燃料漏れ。燃料ポンプを分解調査の結果、異常は認められなかった。

2.4 気象に関する情報

天気 晴れ、視程 良好、風 なし（操縦者の口述）

2.5 その他必要な情報

航空法第11条第1項ただし書きの許可未取得。

3 事実を認定した理由

離陸後、エンジン回転数が低下したため、水田に不時着し、前輪を泥に取られ転覆した。

エンジン回転数の低下は、燃料ポンプに異物が混入し燃料吐出量が低下した可能性が考えられる。

飛行許可空域を逸脱して飛行していたために、場外離着陸場に帰投できず不時着場として当初麦田を選定したが、高度が低下し水田に不時着した。

4 原因

エンジン回転数の低下のため、不時着を意図し水田に不時着したため転覆したものと推定。

付図 2 スポーツ・アビエーション・エアクラフト式
アベンジャー-R447L型 三面図

単位：m

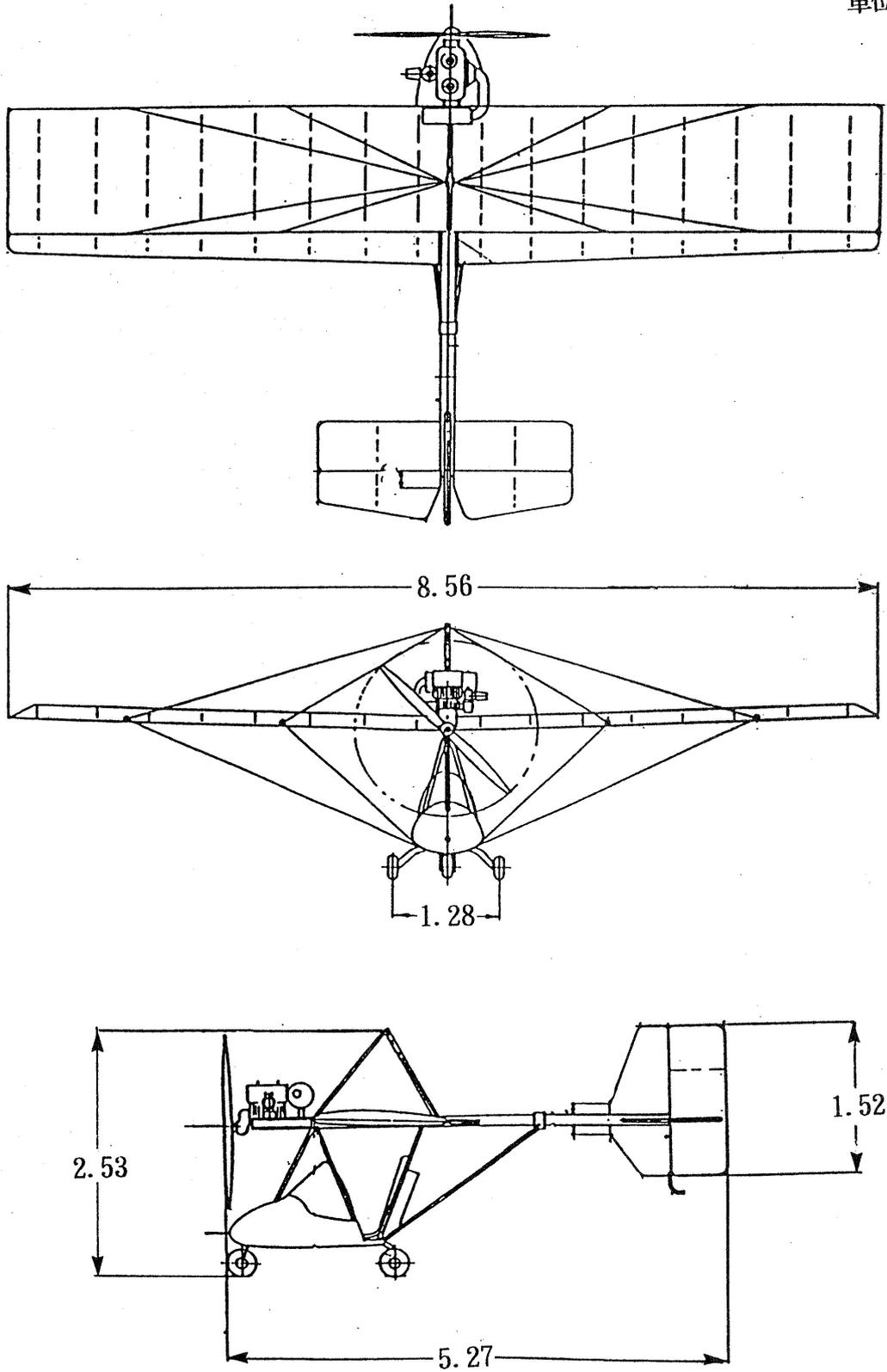


写真 事故機

